

湖西大学校への交換留学 月例報告書 (3月分)

留学先大学：湖西大学校

氏名：村松果歩

◎はじめに

中学生の頃から韓国に興味を持ち、独学で韓国語の勉強を始め、3年生になるタイミングで一年間の休学をしての留学を決意しました。経済的な不安が大きかったのですが、入学時から利用していた第二種貸与奨学金の一時的な増額、また協定派遣で利用可能な奨学金をいただき、留学を実現するに至りました。

◎出国当日の流れ

2月23日に中部国際空港から出国し、2時間ほどで仁川空港に到着しました。日本が祝日だったため観光客がとても多く、入国審査に1時間以上時間がかかりました。そのため、手持ちの日本円を韓国ウォンに両替する時間が取れず、のちの生活(外国人登録に必要な登録料や寮での洗濯など)で困ったので、少なくとも1万円ほどは日本で予め両替しておくことをおすすめします。担当の方が空港までピックアップに来てくださったので、別キャンパスに留学する中国人学生の方とともに寄宿舍まで向かいました。アサンキャンパスまでは2時間半ほどかかりました。

◎寮について

2人部屋と4人部屋がありますが、金銭的な面を考慮して4人部屋を選択しました。入国当日は開講まで時間があつたこともあり、私より先に入国していた日本人学生と2人でしたが、現在は韓国人の方2名を含めた4人で生活をしています。事前に韓国人との共同生活を希望するかどうかの確認があつたため希望しましたが、韓国語を使う機会を増やすためにも希望してよかったですと感じています。

寮では月曜から木曜の夜10時から11時半まで学習時間が定められており、その間は点呼が行われ基本的に部屋の中で各自学習を進める必要があります。夜10時以降の外出や外泊は申請が必要です。

◎学校での手続きについて

入国の翌日に大学内の事務所で外国人登録と学生証兼チェックカード発行のために書類を作成しました。基本的にどの書類も英語での表記もあるため、困ることはないと思います。本来はこの時点で証明写真があるとすぐに申請に移れるそうなのですが、職員の方からの勧めもあり、韓国式の証明写真を撮ることにしました。

◎授業について

月曜から水曜まで授業があり、専門科目を2つ、韓国語の講義を2つ受けています。韓国語の講義は留学生のみが受ける講義のためそこまで難しくありませんが、専門科目は韓国人の学生も受ける講義なので、韓国語で進められる講義の内容を聞き取り、理解することに初めは苦労しました。しかし、徐々に慣れてきて今は楽しく講義を受けています。また、専門科目のうちの1つはグループワークがあるため、韓国人の方と話す機会が必ずあり、とてもいい経験になっています。現在進行中の課題であるため、次月以降の報告書で詳しい内容や発表の過程についても書こうと思います。

◎学校での生活について

基本的に講義で必要なアプリや寮でのルールなどの情報は、聞かない限り誰も教えてくれません。幸い、入国前から大学の新生のオープントークに入っていたことと、先に来ていた留学生の方々が共有してくださったおかげで何とかりましたが、事前に積極的に動いて自ら情報を収集することの重要性を再認識しました。

◎おわりに

留学が始まって1か月が経ちましたが、本当にあっという間でした。これからバディプロジェクトやEMCのアルバイトも始まるので、より一層充実した留学生活を送れるように努力していきたいと思います。

